

福岡県市民教育賞

第1回(2003年)から第17回(2019年)の軌跡



市民教育賞受賞者一覧

| | 賞名 | 受賞者・団体 ()内は、受賞時の情報です。 |
|---------|--------------------------|--|
| 第1回 | 産業教育賞 | 生野 保幸(東陶機器株式会社中央技術センター生産技術センター研究員) |
| | 教育者奨励賞 | 山田 俊之(久留米市立久留米養護学校 教諭) |
| | 教育者奨励賞 | 坪井 憲治(福岡市立帯岐丘中学校 教諭) |
| | 地域社会教育賞 | 福岡市立福岡高等学校 日本語コミュニケーション委員会メンバー(福岡市立福岡高等学校教員) |
| | 地域社会教育賞 | 池上 邦俊(つくしヤングラガーズ 会長) |
| | 地域社会教育賞 | 帆足 行敏(福岡掃除に学ぶ会 代表世話人) |
| 第2回 | 教育者奨励賞 | 有田 かよ子(今津特別支援学校 教諭) |
| | 教育者奨励賞 | 橋下 京子(野の花だより会 主宰)・園木 洋子(九州女子高等学校 養護教諭) |
| | 教育者奨励賞 | 峯田 明子(福岡市立博多小学校 教諭) |
| | 地域社会教育賞 | 蔵谷 浩司(知心学会 会主) |
| | 地域社会教育賞 | 高木 正徳(隻流館 理事・師範、大野城南柔道クラブ 会長・株式会社たかき佛社工 代表取締役) |
| | 地域社会教育賞 | 津屋崎臨海学校実行委員会 |
| 第3回 | 特別賞 | 玄界島BGFC(玄界中学校少年少女消防クラブ) |
| | 産業教育賞 | 是永 忠志(九州大学大学院工学府 技官) |
| | 教育者奨励賞 | 菊池 省三(北九州市立香月小学校 教諭) |
| | 教育者奨励賞 | 田中 佳幸(久留米市立羊田山中学校 教諭) |
| | 地域社会教育賞 | 小林 昌樹(福岡市城南区自治協議会連合会 会長) |
| | 地域社会教育賞 | 平田 喜代美(平田母乳育児コンサルタント 院長) |
| 地域社会教育賞 | 正平 辰男(東和大学総合教育センター所長・教授) | |
| 第4回 | 教育者奨励賞 | 西 福江(社会福祉法人福栄会高取保育園 園長) |
| | 教育者奨励賞 | 重枝 一郎(福岡市立千代中学校 教諭) |
| | 地域社会教育賞 | 佐藤 明男(福岡市立和台中学校 バレー部外部コーチ) |
| | 地域社会教育賞 | 林 久美子(前原市民生部児童家庭課 地域保健師)と糸島地区保健師ブロック研究協議会 |
| 第5回 | 産業教育賞 | 三嶋 隆夫(フランス菓子 16区オーナーシェフ・株式会社ジュエロック 代表取締役社長) |
| | 教育者奨励賞 | 松田 和宏(福岡市立福岡西陵高等学校 教諭) |
| | 教育者奨励賞 | 岡本 泰弘(大野城市立大和中学校 教諭) |
| | 教育者奨励賞 | 春口 徳雄(大分友愛病院 医学博士/臨床心理士) |
| | 地域社会教育賞 | みつば会 |
| 第6回 | 産業教育賞 | 堀川 英樹(株式会社ホリカフ 代表取締役) |
| | 教育者奨励賞 | 河原 久子(福岡市立原中央中学校 箏曲部指導者) |
| | 教育者奨励賞 | 谷崎 重幸(東福岡高等学校 教諭/ラグビー部監督) |
| | 地域社会教育賞 | 徳永 明子(きりん文庫かすが 主宰) |
| | 地域社会教育賞 | 堤 耕一郎(福岡県西警察署 少年補導員) |
| 第7回 | 産業教育賞 | 瀧 徳生(山九プラントテクノ株式会社) |
| | 教育者奨励賞 | 西野 尚子(福岡市立春吉小学校 教諭) |
| | 地域社会教育賞 | 善 英隆(八女消防本部消防吏員炎太鼓創設者) |
| | 地域社会教育賞 | 藤田 弘毅(福岡県和ごま競技普及協会 会長) |
| | 地域社会教育賞 | 下田 功(アビスパ福岡株式会社ホームタウン推進部 部長) |
| | 特別賞 | 上野 正通・京都(北京五輪女子ソフトボール 上野 由岐子氏ご両親) |
| 第8回 | 産業教育賞 | 尾崎 松之(極東ファディ株式会社コーヒー部 部長) |
| | 教育者奨励賞 | 小方 信二(第二赤間保育園 園長) |
| | 教育者奨励賞 | 平井 素子(豊前市立八屋小学校 教諭) |
| | 地域社会教育賞 | 波多江 保彦(ボランティア団体おもちゃ病院伊都国 代表) |
| 地域社会教育賞 | 旭座人形芝居保存会 | |
| 第9回 | 産業教育賞 | 山田 哲彦(エムイーシーテクノ株式会社) |
| | 教育者奨励賞 | 齋藤 真人(学校法人立花学園 理事長・立花高等学校 校長) |
| | 教育者奨励賞 | 塩屋 淳子(福岡市立南当仁小学校 教諭) |
| | 教育者奨励賞 | 的場 典子(福岡市立三苦小学校 教諭) |
| | 地域社会教育賞 | 宮寄 節男(野芥2丁目町内会長) |
| | 地域社会教育賞 | 賀久 はつ(むなかた助産院 福岡県助産師会 元会長) |

| | 賞名 | 受賞者・団体 ()内は、受賞時の情報です。 |
|------|---------|---|
| 第10回 | 産業教育賞 | 高木 節雄(九州大学工学研究院) |
| | 産業教育賞 | 小林 秀稔(株式会社サンキュリサーチアンドクリエイティブ 指導員) |
| | 教育者奨励賞 | 荒瀬 尚三(福岡市立飯原小学校 校長) |
| | 教育者奨励賞 | 中嶋 利昭(筑紫女学園高等学校 校長) |
| | 地域社会教育賞 | 小田 哲也(NPO法人箱崎自由学舎 ESPERANZA 代表) |
| | 地域社会教育賞 | 大谷 清美(NPO法人チャイルドケアセンター 代表理事) |
| | 特別賞 | 井口 潔(ヒトの教育の会 会長・井口野間病院 理事長) |
| | 特別賞 | 檜山 タミ(料理研究家 檜山タミ料理塾 塾長) |
| | 特別賞 | 三浦 清一郎(生涯学習通信「風の便り」編集長) |
| 第11回 | 教育者奨励賞 | 吉松 政春(福岡県立北九州視覚特別支援学校 校長) |
| | 教育者奨励賞 | 十時 宏徳(福岡便教会 代表世話人) |
| | 教育者奨励賞 | 南 光俊(宇美町立宇美東中学校 主幹教諭) |
| | 地域社会教育賞 | 吉門 仗(手弁当の会 代表) |
| | 地域社会教育賞 | 宮嶋 晴子(NPO法人子育て市民活動サポート Will 代表理事) |
| | 地域社会教育賞 | 田和 昭壽(岡垣町青少年健全育成町民会議 会長) |
| 第12回 | 教育者奨励賞 | 慶田 喜彦(福岡県立須恵高等学校 指導教諭) |
| | 教育者奨励賞 | 吉留 康一(芦屋町立芦屋小学校 教諭(研究主任)) |
| | 地域社会教育賞 | 古賀 彩子(PLAY FUKUOKA 代表) |
| | 地域社会教育賞 | なんちゅうカレッジ事務局(代表:荒木真(春日南中学校)) |
| | 産業教育賞 | 山田 登三雄(株式会社九州電化 代表取締役社長) |
| 第13回 | 教育者奨励賞 | 下野 六太(福岡県春日市立春日東中学校 保健体育科主幹教諭) |
| | 教育者奨励賞 | 和栗 百恵(福岡女子大学国際文理学部 准教授) |
| | 地域社会教育賞 | 五郎丸 千恵子(アトリエ建築会 会長) |
| | 地域社会教育賞 | たいら 由以子(NPO法人循環生活研究所 理事長) |
| | 地域社会教育賞 | 原田 慶(田川de寺子屋プロジェクト 代表) |
| | 産業教育賞 | 長澤 儀久(ナサ工業株式会社 取締役会長) |
| 第14回 | 教育者奨励賞 | 福泉 亮(福岡県立小倉高等学校 教諭) |
| | 教育者奨励賞 | 佐藤 行彦(田川市立中央中学校教諭 放送部顧問) |
| | 教育者奨励賞 | 伊藤 治美(福岡市立横手中学校教諭 サッカー部顧問) |
| | 地域社会教育賞 | 坪井 恵子(一般社団法人ストリートプロジェクト 理事長) |
| | 産業教育賞 | 鶴 基(アグリホープ九州監事・相談役) |
| | 産業教育賞 | 緒方 克也(社会福祉法人 JOY 明日への息吹 理事長) |
| 第15回 | 教育者奨励賞 | 野村 知景(福岡市立宮竹中学校 教諭) |
| | 教育者奨励賞 | 井上 和孝(福岡県立柳河特別支援学校 教諭) |
| | 地域社会教育賞 | 山本 美也子(NPO法人はあとスペース代表理事) |
| | 地域社会教育賞 | NPO法人ハッピーライド(代表 常田貴清) |
| | 地域社会教育賞 | 非営利団体ウハウハ長尾(代表 角田愛美) |
| | 特別賞 | 山田 真理子(NPO法人子どもと保育研究所ぶろほ 理事長・九州大谷短期大学 名誉教授) |
| 第16回 | 教育者奨励賞 | 田原 憲一郎(福岡県立宇美商業高等学校 教諭) |
| | 教育者奨励賞 | 蓮尾 稔郎(福岡県立三池工業高等学校 教諭) |
| | 地域社会教育賞 | 飯田 勝義(糸島市愛犬の会 代表) |
| | 地域社会教育賞 | 稗田 好直(トヨタ自動車九州ものづくりサークル) |
| | 地域社会教育賞 | 春日市子ども文庫・読書サークル連絡会 |
| | 産業教育賞 | 梅田 茂美(株式会社サンキュリサーチアンドクリエイティブ) |
| 第17回 | 教育者奨励賞 | 八久保 卓爾(福岡県美術協会 会員) |
| | 教育者奨励賞 | 幸 政恵(野ばら保育園) |
| | 地域社会教育賞 | 関 泰弘(那珂川市青少年育成市民会議 相談役) |
| | 地域社会教育賞 | 梶原 日出男(全国100km徒歩の旅 会長) |
| | 地域社会教育賞 | 天野政和、天野 光義、横山 直志(徳業新聞 事務局) |
| | 産業教育賞 | 一般社団法人日本電機工業会福岡支部福岡理科支援ワーキンググループ |

● 特別賞



うえの まさみち
上野 正通 氏 (66歳)
みやこ
京都 氏 (65歳)

北京五輪女子ソフトボール 上野 由岐子氏ご両親

北京オリンピック、日本女子ソフトボールが栄光の金メダルに輝いた。子ども自身の「夢」を全力で支援する家庭環境を作った。

略歴

私たちは、2008年北京オリンピックから2021年東京オリンピックまでの13年間。娘（上野由岐子）がソフトボールを辞めるかもしれないと不安を抱えてきた。

しかし、2016年に東京オリンピックの競技種目にソフトボールが決まってからは、覚悟を決めて頑張ってきてくれた。私たちはただ、ただそれを応援してきただけ。けれど、再び金メダルがとれて最高だった。

受賞時の思い出

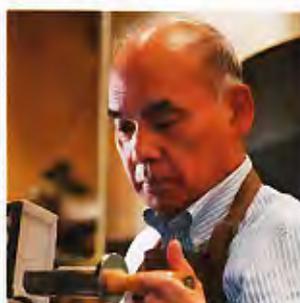
娘（上野由岐子）は、小学校3年生で始めたソフトボールだったが、中学3年の答辞にて「自分の夢はオリンピックで金メダルを首にかけてもらうことです」と言っていた。2008年北京オリンピックで金メダルがとれた時はとても感動した。また、応援してきた私たちまで「市民教育賞」をいただき感謝の気持ちでいっぱいだった。

受賞後に思うこと

私たちが「市民教育賞」をいただいたことで、これまでの子育てを思い返した。

ソフトボールに限らず、一緒に笑い、喜び、誉めてきたことで「頑張る娘（上野由岐子）」に育ってくれて「ありがとう」と思う。

● 産業教育賞



おざき まつゆき
尾崎 松之 氏 (69歳)

極東ファディ株式会社
コーヒー事業統括部 コーヒー生産部長

昭和50年から焙煎工程に従事。専門学校など教育現場に講師として出向き、地域のコーヒー文化発展にも貢献している。

略歴

現在も受賞時と同じくコーヒー豆の焙煎製造に携わっている。会社勤務と合わせて中学校での講演会、北九州調理製菓専門学校で非常勤講師としてピバレッチ論を担当している。又、大原学園では将来のパティシエ達に「コーヒーとスイーツのマリアージュ」についてコーヒーの講演や実習を行なっている。

受賞時の思い出

当時は名誉ある賞を頂き授賞式は大変緊張したと思い出がある。

受賞された方々の活動内容を拝聴させて頂き、みなさんの日々の活動に胸を打たれたと同時に、私もこの賞に恥じないようにと受賞当日、心に決めた事を今でも忘れていない。

受賞後に思うこと

コーヒーを通じて様々な方にコーヒーの美味しさや、素晴らしいさを伝承していきたいと思う。

● 地域社会教育賞



はたえ やすひこ
波多江 保彦 氏 (82歳)

ボランティア団体おもちゃ病院伊都国 代表

子ども達の壊れたおもちゃを無料で修理するボランティア団体「おもちゃ病院伊都国」を設立。おもちゃ修理体験・リユース支援などにも力を入れている。

略歴

2007年団体設立 おもちゃドクター兼務の代表者に就任。2010年市民教育賞後は、福岡県 ふくおか共助社会づくり表彰、朝日新聞社 朝日のびのび教育賞、福岡県 ふくおか地域づくり活動賞、環境大臣表彰(循環型社会形成推進功労者)、糸島市 地域活動振興奨励者表彰など数々の賞を受賞。2018年 団体設立10周年と80歳を契機に代表者を後進に託し、現在は顧問の立場から活動を支えて更なる発展に寄与。

受賞時の思い出

2007年の団体設立以来、「3年持つかな？」と危惧しつつ体制の強化や活動内容の充実などに我武者羅に取り組んでいたところ、2010年に思いがけなく福岡県市民教育賞受賞の栄誉に浴した。まさに「石の上にも3年！」を実感した次第で、爾後は「継続は力なり！」を実践している。受賞時の西日本新聞社インタビューでは、受賞の喜びと共に「今後は子どもにもおもちゃ修理を体験してもらうなど、活動のすそ野を広げたい」と抱負を語っていた。

受賞後に思うこと

受賞は公的評価の証であり、我々の活動は自己満足に過ぎないのではないかと懸念していた会員の自信と活力に繋がった。この受賞が行政機関の注目を集め、新聞やTVの紹介を通じて知名度が上がったことが、更なる体制強化や活動充実に繋がって数々の表彰を受賞する契機となった。具体的には受賞時8名の会員が翌年には10名・2012年には20名を超えるにつれて、活動内容も①小学校授業での「おもちゃ修理体験学習」・②「かえっこ」とのコラボレーション・③不要おもちゃを引取り点検整備して育児施設等に寄贈するリユース活動「おもちゃ箱」などに拡がっている。

● 地域社会教育賞



旭座人形芝居保存会

黒木小学校人形浄瑠璃クラブの児童と一緒に、県の無形民俗文化財「旭座人形芝居」の保存と練習に取り組んでいる。地域住民が主体となって家族ぐるみで継承されている。

団体の略歴

「旭座人形芝居」の始まりは、1872(明治5)年頃といわれている。笠原・鰐八地区の祝いの席で、顔をかいた瓢箪や徳利を人形に見立て、浄瑠璃にあわせ操ったことから人形浄瑠璃へと磨きがかかっていった。旭座人形芝居会館の建設を契機に、広く地域の皆さんが参加できるよう「旭座人形芝居会館運営委員会」も発足し、地域みんなで「旭座」を守っていこうとする機運が高まった。近年は行政の支援を受けながら熊本や大阪から講師を招き、太棹三味線や義太夫の講座を開催し、技術の研鑽と後継者育成に努めている。地元・黒木小学校(当時:笠原小学校)では人形浄瑠璃クラブが発足し、本公演当日は子どもたちによる貴重な発表の場として、多くのファンが見守る。例年11月3日(祝)・文化の日には本公演を開催し、県内外から多くの見物客が来場し、錦秋の笠原路は多くの人出で賑わいをみせている。

受賞者時の思い出

NHK福岡局の地域ドラマスペシャル「母さんへ」の放映を終え一息ついた頃、事務局より「福岡県市民教育賞」受賞内定の連絡がきて、晴天の霹靂の思いだった。週疎が進展する鰐八地区にあり村中に人影が疎らとなるなか、テレビ放映が契機となり多くの視聴者から激励をいただき、保存会一同、受賞も大きな励みとなって人形芝居の継承と本公演を20年にわたり続けることができた。コロナ禍の今日、本公演は2年連続で中止となったが、継承活動では地域の若者やイギリスからの移住者の参加もあり、先輩方との交流を通じて練習にも活気がよみがえった。伝統芸能の「現在」の形を本公演でご披露できるよう、日々の継承活動に全力を尽くしながら、八女市黒木町笠原地区の歴史的風土を守り抜いていきたい。



福岡県市民教育賞実行委員会

事務局：一般社団法人福岡県中小企業経営者協会連合会

〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目4-2

エルガーラオフィス6F

TEL/092-753-8877 FAX/092-753-8870